

京都市の防災対策の総点検

京都市では、東日本大震災での課題を踏まえ、これまで進めてきた京都市の防災対策事業の成果と課題を検証し、今後の取組方向を明らかにするため、平成23年6月22日に防災対策総点検委員会を設置しました。

この委員会には、学識経験者、市民代表、京都市職員等で構成する3つの検討部会を設置し、延べ22回の会議を重ね、平成23年12月14日に委員会から「最終報告」の提出を受けました。

東日本大震災での課題

- 1 燃料不足
- 2 通信手段の不全
- 3 避難生活（在宅避難者を含む）の支援
- 4 震災廃棄物対策
- 5 輸送路の確保
- 6 観光客・帰宅困難者対策
- 7 原発事故の影響
- 8 液状化による被害

京都市防災会議

防災対策総点検委員会

委員長：土岐憲三 立命館大学歴史都市防災研究センター長
副委員長：仲谷善雄 立命館大学教授
委員：清野純史 京都大学大学院教授
委員：牧 紀男 京都大学防災研究所准教授
委員：永松伸吾 関西大学准教授
委員：京都市防災会議幹事（京都市関係局職員）等

専門委員会

- 被害想定の特検
- 原子力発電所事故の影響

について検討する

被災者支援第一検討部会

部会長：牧 紀男 京都大学防災研究所准教授
メンバー：自主防災会代表、人権擁護委員、市災害ボランティアセンター、京都市（行財政局、総合企画局、文化市民局、産業観光局、保健福祉局、都市計画局、区役所、教育委員会、消防局）
検討テーマ：避難所開設・運営、防災訓練、要援護者対策、ボランティア、コミュニティ、観光客・帰宅困難者対策

被災者支援第二検討部会

部会長：永松 伸吾 関西大学准教授
メンバー：輸送・通信機関代表、京都市（環境政策局、行財政局、総合企画局、文化市民局、産業観光局、保健福祉局、区役所、教育委員会、消防局）
検討テーマ：情報、医療・救護・衛生、廃棄物処理、オープンスペース、物資調達・輸送、防災教育、産業・就労

都市基盤検討部会

部会長：清野 純史 京都大学大学院教授
メンバー：ライフライン関係機関代表、京都市（行財政局、文化市民局、都市計画局、建設局、交通局、上下水道局、消防局）
検討テーマ：住宅・建築物等、道路・橋りょう・公園・河川・排水機場、文化財、液状化対策、ライフライン、復旧・復興